

2018年9月19日

SAM日本チャプター会員 各位

SAM東京支部事務局

2018年10月度 東京支部例会について（ご案内）

拝啓 初秋の候、会員各位におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、SAM東京支部の2018年10月度例会について下記のとおりご案内いたします。

今回は、伊東明彦会員にご紹介いただいた「佐々木 淳様（医療法人社団悠翔会理事長・診療部長）」をスピーカーにお迎えして、講話をお聴きいただきます。

ご多忙の折とは存じますが、会員各位の多くのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日 時：2018年10月24日（水） 12:00～13:40**■会 場：東京駅サピアタワー9階 学校法人産業能率大学「セミナールーム2」**
当日は、添付の地図をご参照の上、サピアタワー3階の受付へお越しください。**■スピーカー：佐々木 淳 様**

【経歴】 1973年 京都市生まれ。
1998年 筑波大学医学専門学群卒業、社会福祉法人三井記念病院に内科研修医として入職。
2003年 その後、内科・消化器内科医員を経て、2003年 東京大学大学院医学系研究科博士課程に入学。
2006年 東京都千代田区に在宅療養支援診療所MRCビルクリニックを開設。
2008年 法人化（医療法人社団悠翔会）、理事長に就任。現在、首都圏一都三県に在宅療養支援診療所を11拠点開設。76名の医師とともに3500人の在宅患者さんに24時間体制の在宅総合診療を提供している。

【主な著書】 「家族のための在宅医療実践ガイドブック（幻冬舎）」「点滴はもういらぬ（ヒポクラテス出版）」「多職種連携ハンドブック（法研）」「これからの医療と介護のカタチ（日本医療企画）」

■テーマ：「超高齢社会における医療と介護のあり方」

【ポイント】：日本は急速に高齢化が進行しています。将来的に高齢化率は47%で均衡に達し、人口減少が続いていくと予想されています。このような状況において、就労人口が高齢者を支え続けることは構造的に不可能になります。この超高齢化社会を持続可能なものにするためには、医療のあり方、健康の定義から見直していく必要があります。高齢者医療・在宅医療の現場から、これからの医療・介護、そしてコミュニティのあり方についてご提案いただきます。

■会 費：3,000円**■出欠の有無：2018年10月17日（水）までに事務局へお知らせください。**

※お申し込み後にキャンセルされる場合も10月17日までにご一報ください。

以上

【事務局】 〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
学校法人産業能率大学総務部総務課内 伊藤卓郎
電話番号 03-3704-9046
Eメールアドレス sam@hj.sanno.ac.jp